

令和元年度 東京都高等学校ソフトテニス新進団体選手権決勝  
兼 第60回 東京都高等学校ソフトテニスインドア大会 要項

- 1 主催 東京都高等学校体育連盟 東京都ソフトテニス連盟
- 2 主管 東京都高等学校体育連盟ソフトテニス男子専門部・女子専門部
- 3 日時 令和元年 12月 28日 (土) 9時 30分 競技開始
- 4 会場 エスフォルタアリーナ八王子 (京王線狭間駅徒歩1分)
- 5 試合方法 (公財) 日本ソフトテニス連盟発行「ソフトテニスハンドブック」による  
マッチは7ゲーム、3組対抗点取り法トーナメント方式
- 6 推薦 本大会上位2校を関東高校選抜ソフトテニス大会へ推薦する
- 7 入場 **8:30～ 駅前入口(2F 東側)から入場**  
**(出場選手・監督は8:00より入場可能。ただし、観客席へは入れません)**
- 8 受付 8:30～8:50 オーダー提出 (2階ホール)  
オーダー用紙(ホームページよりダウンロード)に、当日出場する選手4～8名  
(補欠2名を含む)と監督の氏名を記入し、オーダー受付に提出する  
※ 選手・監督が申し込み時と変わってもかまわない 変更の届出は不要
- 9 練習 8:40～9:15 練習各校5分(開会式に出られる用意をして、練習にのぞむ)
- 10 開会式 9:20～9:30 開会式 メインアリーナ(出場選手及び監督は各校1列で整列)
- 11 表彰式 競技終了後 ベスト4以上のチームを表彰する  
なお、ベスト8の学校は賞状を授与するので本部に取りに来ること
- 12 進行予定

2019 年度	メインアリーナ						サブアリーナ				試合予定
	1コート		2コート		3コート		4コート		5コート		
	対戦	審判	対戦	審判	対戦	審判	対戦	審判	対戦	審判	
1	男1-2	11&12	女5-6	15&16	女1-2	11&12	女3-4	13&14	男3-4	13&14	9:30～10:45
2	男7-8	負1 <sup>2</sup>	男5-6	15&16	女7-8	負1 <sup>2</sup>	女9-10	負3 <sup>4</sup>	男9-10	負3 <sup>4</sup>	10:45～12:00
3	男13-14	負7 <sup>8</sup>	女13-14	負5 <sup>6</sup>	女15-16	負7 <sup>8</sup>	女11-12	負9 <sup>10</sup>	男11-12	負9 <sup>10</sup>	12:00～13:15
4	男準々①	負13 <sup>14</sup>	男15-16	負5 <sup>6</sup>	女準々①	負15 <sup>16</sup>	女準々②	負11 <sup>12</sup>	男準々②	負11 <sup>12</sup>	13:15～14:30
5	男準々③	負①			女準々③	負①	女準々④	負②	男準々④	負②	14:30～15:45
6	女子 準決		女子 準決		男子 準決		男子 準決				15:45～17:00
7	男子 決勝			女子 決勝			片付け				17:00～18:00

- ※ 男子：1コート(マイ), 5コート 女子：3コート(マイ), 4コート 共用：2コート  
 ※      は2面展開の予定です。その他も、進行によりコート変更・2面展開に変更することがあります。  
 ※ 1・2回戦の審判は選手審判です。審判は各種目毎なので、1対戦待っての負け審もあります。

13 競技上の注意

- (1) 初戦から2点先取とする。2面展開の場合、勝敗が決定次第、進行中のマッチの順番に関係なく打ちきりとする。
- (2) 2回戦以降のオーダー票は、対戦相手が決まり次第「オーダー受付」に提出する。
- (3) 大会使用球は、男子：ケンコーボール、女子：アカエムボールとする。
- (4) 競技用具・服装等については高体連専門部規定に準じる。  
選手は日本ソフトテニス連盟公認のユニフォームを着用し、指定のゼッケンを背中につける。  
監督の服装等はテニスシューズ以外とくに規定は設けないが、できるだけテニスの服装とする。
- (5) ベンチはプログラム番号の小さなチームがホール側(入口側)とする。

(6) 円滑な進行のために次の事項を遵守する。

- ① 各コート第一試合の選手・監督は、開会式終了後、各コートに整列する。それ以降の試合の選手・監督は呼び出しの放送があったら、速やかに2階ホール選手集合場所へ集合する。
- ② マッチ前の練習は1分以内とする。練習終了後、アドバイスを受ける・給水する・トレーナー等を脱ぐなどの行為は禁止とし、速やかにマッチを開始する。

ただし、進行の都合でマッチ前の練習を省略することがある。

- ③ 試合中、監督及び控え選手は、ベンチから立ち上がらないようにする。
  - ④ マッチ中は連続的にプレーする。マッチの進行に支障となる、パートナー同士の打ち合せや休息を取らない。
  - ⑤ 相手に対しての発声、相手を不快にするような行為は慎む。また、過度のかけ声も慎む。
  - ⑥ 選手・監督はプレーの進行及び判定に関し、アンパイヤーに対して異議を申し立て、又は結果を不服として故意にプレーを中断してはならない。なお、アンパイヤーに対する質問は監督又はそのプレーヤーのいずれかのみができる。
  - ⑦ アドバイスはチェンジサイズとファイナルゲームに入る前のみ、ベンチに入っている監督・選手により、移動時間を含めて1分以内で行うことを認める。(審判は45秒でホイッスルをならす。) それ以外のアドバイス(応援席からのアドバイスも含む)は警告とする。
- (7) 審判は原則として敗者審判で行う。ただし、男子の試合は男子、女子の試合は女子が行うので、負けた学校は1試合空いての審判もある。

#### 14 その他の注意

- (1) 競技フロア(2階)へは、選手・監督・関係者以外は入らない。
- (2) コート以外での練習は行わない。特に開場前も含め、体育館周辺での練習は絶対に行わない。
- (3) 校名カード(本部で2枚用意)のうち1枚は相手校に渡し、もう1枚は相手校のカードとともに得点板にかける。(若い番号の校名カードを得点ボードの上に付ける。)
- (4) 試合前の挨拶については、監督も整列する。
- (5) 応援は次の事項を遵守する
  - ① インプレー中の発声は慎む。また、相手チームが不快になる応援は行わない。
  - ② 審判の判定に対する発言は控える。
  - ③ 試合中のストロボ・フラッシュ撮影は、競技に支障をきたすので絶対に行わない。
  - ④ 観客席の前2列は各学校の応援のために空けておく。  
また、観客席に荷物を置く・シートをかける・ヒモをはるなどの席取り行為は行わない。
  - ⑤ 部旗は、メインアリーナでは東西観客席最前列手すりに、サブアリーナではコート後ろからずれた観客席最前列手すりにひもでくくりつける。

なお、メインアリーナの応援については、プログラム番号の小さなチームがホール側(入口側)、サブアリーナの応援は、プログラム番号の小さなチームがコートに向かって右側とする。

#### 15 体育館からの注意

- (1) 体育館入場待ちについて、一般の方へ迷惑をかけないように役員の指示に従って並んで下さい。
- (2) 競技フロアでは、必ず室内専用シューズを使用して下さい。観客席は外履きでも構いません。
- (3) 館内では、テープ類で壁等に物を貼り付けることは出来ません。
- (4) 非常口の鍵は絶対に開けないで下さい。
- (5) 体育館駐車場は一般利用者のものであります。応援の方は公共の交通機関を利用して下さい。
- (6) コンセントの利用は厳禁です。ビデオ等の電源は、予備のバッテリーを用意して下さい。
- (7) ビデオ・カメラ撮影を行う場合は、2階ホール(プログラム販売所)で用紙に記入して許可章を受け取って下さい。撮影は許可章が見える所(カメラや三脚等)につけて行って下さい。
- (8) 会場を汚さないように十分に注意して下さい。また、ゴミは家まで持ち帰って下さい。
- (9) その他、体育館の方から注意があった場合は、すぐに従って下さい。